

地域メディア プロデューサーを活用した 新たな情報発信の取り組み

「地域メディアプロデューサー養成講座」開講のきっかけ

YouTubeに投稿されたわずか90秒程度の映像作品で墨田区の中小企業を元気にした榎田竜路(えのくだりゅう)さんがいるんだけど、その人を講師に招いてセミナーを開催してみない？」

地域メディアプロデューサー養成講座を開講したそもそのきっかけは、県の産業創出課から提供されたこの情報が発端でした。えひめ産業振興財団では、中小企業支援センターとして、地域産業の高度化や新事業創出の支援等を実施しており、とりわけ企画情報課では、県内中小企業がITの利活用を通じて経営の効率化等が図れるような事業を展開しています。県からの情報は、そうした当課の事業の趣旨に合致する内容で



受講生の皆さんと榎田先生(修了式にて)

したので、セミナー開催に向けて慌ただしく準備に着手し、22年6月、愛媛大学総合メディアセンターを会場に、「地域メディアプロデューサー技術活用セミナー」というテーマでセミナーを開催いたしました。当日は、あいにくの雨にもかかわらず、100人を超える方々のご参加をいただきました。当初はこのセミナーだけを開催する予定だったので、

「実践的な」

内容である「地域メディアプロデューサー養成講座」を、ぜひ開講してほしい。」という要望が多数寄せられたことから、県と協議をし、講座の開講に踏み切った次第です。

「地域メディアプロデューサー」養成講座のねらい

ところで皆さんは、「地域メディアプロデューサー」ってご存知ですか？ たぶん、「NO」という回答がほとんどだと思います。かく言う私も、セミナーを開催するまでは全く知りませんでした。

簡単にいえば、観光資源や産品、人など、地域の魅力(リソース)を発掘し、榎田氏が提唱する、受け手が共感し想像力



受講生の目を釘付けにする榎田先生の映像制作手法



えひめ産業振興財団
企画情報課長
有田 秀司

時間を忘れて
作品制作に取り組む
受講生の皆さん



講座の様子

ののを見方に対する考え方やメディアの活用方法などについて学びながら、情報発信に必要なプロデュース力の習得を目指しました。

を膨らませる装置である「型」を用いてそのリソースを映像コンテンツ化し、YouTube等の動画投稿サイトを通じて情報発信（PR）していく能力（スキル）を持った人材の事です。

講座では、先進地である墨田区の状況なども参考にしながら、単なる映像クリエイターの養成ではなく、愛媛の魅力の情報発信を主導できる「地域メディアプロデューサー」を育成することを目的に、映像作品の制作体験を交えて、も

講座は、学校法人愛媛学園の協力のもと、22年7月末から9月中旬にかけて計5回開講し、9月下旬には講座の中で制作した映像作品の発表会を兼ねて修了式を開催しました。講師はもちろん榎田竜路氏で、「型」の概念を用いた映像コンテンツの制作・運用法である「序破急モデル」（※再生時間や情報量によって映像コンテンツを三段階に区分けしたもの。詳しくは<http://av-pj.com/service/id000026.html>を参照。）の

うち90秒程度といちばん短い「序」作品の制作を最終目標として、映像制作の手法だけでなく、情報共有全盛時代に即したメディアの活用方法などについても熱心に講義をさせていただきました。

なお、受講生は18人で、その職種は多岐に渡り、地方自治体をはじめ、IT関連企業、製造業、金融機関、商工団体などから参加がありました。参加した動機、きっかけは様々で、最初はあまり受講に積極的ではなかった受講生も、回を追うごとに榎田氏の講義の魅力に引き込まれ、作品の制作に熱心になるあまり、開講時間を大幅に超過することもしばしばでした。

また、講座が進むにつれ、最初はバラバラだった受講生の間にも一体感のようなものが生まれてきたように感じました。このことは、講座が終了した後、当財団があえてフォローをしなくても、受講者同士が切磋琢磨しながら講座で学んだ技術等を向上させ、情報発信を通じて愛媛の活性化に尽力していただけるのではないかとという安心感のようなものに繋がりました。

講座を終えて

講座が終了して1年余りが経ちますが、受講生同士の交流は続いているようです。現在のところ、講座を実施したことによる地域



受講生同士がペアを組んで作品を制作

の活性化に繋がる効果というものは、まだまだあまり実感できない状況ですが、長い目で見守っていく必要があるのかなと感じています。また、全国に目を向けると、大阪や島根、秋田などでも同様の講座が実施されており、それぞれの地域で「地域メディアプロデューサー」が誕生しているようです。

住民自らが地域をPRする意識

映像コンテンツが企業の営業ツールとして効果を発揮すれば、新たな事業展開につながるだけでなく、情報流通性を高め市場を活性化することができると、伝統や文化の価値を共有し域内に住む人々の誇りを高めることにもなります。

墨田区の関係者がこう語ってくれました。「良い町かどうかの違いは、自分の町を誇りに思う人がどれだけいるかと言われらる。墨田に誇りを持つて良さを伝えられる人を増やしていきたい。」

当財団は単なるきっかけづくりをしたに過ぎません。「墨田」を「愛媛」に置き換えて熟っぽく語ってくれる「地域メディアプロデューサー」がこれから愛媛に続々と誕生することを願うとともに、受講生の今後の活躍に期待しております。

【参考URL】

- <http://www.youtube.com/tdcsumida> (東京都墨田区 (Tokyo Downtown Cool))
- <http://www.osakachaos.com/> (大阪ケイオス (Osaka Chaos))